

2016年度総会の報告

三嶋秀恒（松戸市）

開催日：2016年2月11日（木・祝日）

場 所：千葉市生涯学習センター 大研修室

出席者：70名、委任者数：127名 計197名、会員数：275名（2月10日現在）

特別講演（司会・講師紹介：木下順次） 13：00～14：15

「ヒトは見かけによらないが、カモは見かけによるのです」

講師：国立研究開発法人森林総合研究所 野生動物研究領域鳥獣生態研究室
主任研究員 川上 和人 氏

総会（司会・進行：木下順次） 14：30～16：00

議長：高木純一（習志野市）、書記：井上智史（千葉市）・八木千里（千葉市）

議題：2015年度行事報告・会計報告・監査報告、2016年度行事・予算案提案

*特別企画：「千葉公園でバードウォッチング」 9：30～11：30

担当：木下順次・藤田英忠、参加者数：22名

*懇親会：千葉市生涯学習センター内「うのまる」 16：20～17：50

担当 盛一昭代・三嶋秀恒 参加者数：40名

特別企画（自然観察会）：「千葉公園でバードウォッチング」 於：千葉公園

穏やかな日和に恵まれ、公園ではスズメ・ハクセキレイが目にとまり、ラクウショウの枝にシジュウカラとメジロが見られるが、何を食べているのだろうか？ ヒヨドリの飛び方（波状飛行）は特徴がある。満開の紅白のウメの木の先にアオジが遊んでいる？ 綿打池に來るとセグロセキレイとダイサギが芝生で観察しやすいようにデモ、池にはキンクロハジロ♂♀、フィールドスコープにカムリカイツブリなどが設定されての観察、20種類程度の鳥を観察できました。

見られた鳥：キンクロハジロ、カムリカイツブリ、キジバト、カワウ、、オオバンアオサギ、
チュウダイサギ、コサギ、ユリカモメ、セグロカモメ、カワセミ、ハシボソガラス、ヒヨドリ、
ハシブトガラス、シジュウカラ、エナガ、メジロ、ムクドリ、シロハラ、ツグミ、スズメ、
ハクセキレイ、セグロセキレイ、カワラヒワ、アオジ、ドバト 計26種類

特別講演：テーマ「ヒトは見かけによらないが、カモは見かけによるのです」

講師の川上氏は、小笠原諸島を中心に鳥類の生態と保全の研究を行い、オガサワラヒメミズナギドリの研究発表が高く評価されている。赤いシャツで登場し、「赤い服を着ると勝負強くなり、異性を惹きつける」の衝撃発言で注目があつた。講演は鳥類の特徴と形態の進化から始まり、進化とは約150年前にダーウィンが唱え、その後ポケモンゲームでドッコラーが進化して強くなりドテンコツになるように、マガモの雄がカラフルになると雌に好かれて子孫を残せるカラフル利益が生ずる。日本の越冬地でペアを作るので秋から冬にかけて派手な色彩（生殖羽）になるが、子育ての時期やシベリアに帰る時は換羽する。カモ類は世界中に広がっており多様で、生き残りのために嘴や足の付き方（真ん中や後ろに付いている）が異なる 等々も大変興味ある話の展開でした。

総会：晝間代表からの挨拶の後、高木純一さんが議長、井上智史さんと八木千里さんが書記に選出され、議事進行しました。行事報告は晝間代表からPPTを使用して詳細に分りやすく発表があり、会計報告は浦部さん、会計監査報告は嶋野さんから発表があり、承認されました。続いて 昭和の森観察会・東葛しぜん観察会・研修会・SSN・受託事業等々の行事案および予算の提案で、夫々の担当役員から熱のこもった説明があり、承認されました。

懇親会：一階の会場に移り、晝間代表の乾杯の音頭で、たっぷりの食事と飲み物で歓談して親睦を深めました。天気が良く風の吹かない一日で、楽しい雰囲気交流しました。